

教科名	科目名	単位数	授業形態	系統	履修年次
国語	文学国語	文系2、理系1	一斉	共通	2

教科書（発行所）	文学国語（大修館書店）
教科書以外の教材	

目 標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。		
学 期	学習事項	学習内容	考查等
学習計画	1 学期 随想「飛ぶことを知っている魂」 小説「山月記」 ・探究：翻案が広げる世界 ・文学を読むために「物語の構造」 小説「山椒魚」 随想「浄瑠璃の春」 ・言語活動：情景を描写する	・身近なできごとを描いた文章に触れ、文学に親しむ。 ・「山月記」の典拠である中国唐代の小説『人虎伝』と読み比べることで翻案作品の魅力に迫る。 ・ストーリーとプロットに注意して「山月記」を読む。 ・構成や表現効果に注目する。寓意的な表現の意味を考える。 ・文章の展開に即した情景描写に着目し、読み手の共感を得られる表現を考える。	課題考査 中間考査 期末考査
	2 学期 小説「こころ」 ・文学の扉：青年と近代文学 詩・短歌・俳句「小景異情」・「永訣の朝」 「短歌十三首」・「俳句十五句」 ・文学を読むために「詩の形式・表現」 「短歌・俳句の修辞」 ・言語活動：心情を描写する	・作品を通して人物関係や人物の境遇と心情をおさえる。「こころ」の登場人物と現代の私たちとの、ものの見方、考え方などの共通点や相違点をまとめる。 ・韻文の形式やリズムを味わう表現や効果について理解を深める。 ・心情を生き生きと描写し、読み手の洋館を得るため、言葉や表現を吟味して書く。	課題考査 中間考査 期末考査
	3 学期 随想「月の誤訳」 評論「私の日本住居論」 ・言語活動：構成を考えて書く	・幅広い視点で日本の言語文化の特徴をとらえる。 ・最も伝えたいことをどこに置くのか、読み手の共感を呼ぶ構成を考える。	課題考査 学年末考査
授業の受け方・学習に向けてのアドバイス等	<ol style="list-style-type: none"> 1 提出物・宿題の期限を必ず守る。 2 授業中は必ず辞書を持参し、こまめに辞書を引く習慣をつけ、語彙力をつける。 3 国語に苦手意識を持っていても、どれだけの努力をしたかが大切である。主体的・積極的に学習へ取り組みよう。 4 ノートやプリントは板書をそのまま写すだけで終わらせず、説明を集中して聞き、メモを取ったり、アンダーラインを引いたりする習慣をつける。ノートが自分の参考書になるので、後から復習で活用できるように丁寧にまとめる。 5 1年間の学習を通して言語感覚を磨き、思考力や自ら進んで表現する姿勢を養おう。 		

評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
評価の方法	<p>定期考査・課題確認テスト（小テスト）・課題レポート・日々題・週課題、授業に臨む姿勢や意欲及び自己評価を総合的に評価します。</p> <p>いわゆるペーパーテストのみの点数がすべてではありません。身につけるべき能力をまんべんなく評価します。よって、テスト以外の普段の取り組みも評価の対象になります。知識・技能にもとづいた思考力・判断力・表現力も問うので、普段から、本質的な力を磨くようにしてください。</p>		